

柔道の安全対策は

安全を第一に(教育長)

古矢 武道必修化の意義は、**教育長** 伝統と文化を尊重する

云々の教育目標が定められ、武道の必修化が出されました。

古矢 体育教員の中で、有段者は何人いるのか。

教育長 体育教員の中で1人、その他に3人います。

古矢 柔道を教える際の安全指針はあるのか。

教育長 全日本柔道連盟の安全指導テキストを参考にし、体育教師は全員研修も受け、安全第一に配慮しながら授業を行います。

市営河川対策

古矢 河川管理実施計画策定後の対応は。

市長 現況調査結果をもとに、石積み護岸と自然護岸のうち改修が必要な箇所を特定し、工事を行っていきます。

古矢 地元との協議は。
市長 随時協議をしていきます。

市の農業再生とTPP

古矢 市の農業再生について、市長の所見は。

市長 現在作成しています「人・農地プラン」をもとに、市独自の取り組みを行っていきます。

古矢 農業再生とTPPの参加は、両立すると思うか。

市長 内容が明確でないため、早急に農業問題の方向づけを示していただきたいと思っています。

古矢 再生可能エネルギーの地産地消を進める考えは。
企画調整監 いろいろと検討を進めていきます。



古矢 正幸 議員



安全には万全を

討 論

陳 情

発議第2号 うきは市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

* 議員から現在の「月額1万円」を「月額8千円を上限とする」に改める案が提出されました。

櫛川正男 議員 政務調査費の交付については、以前から廃止を訴えていたので反対します。

三園三次郎 議員 議員が調査などの議会活動をするには、若干でも費用が必要であり、また将来的には検討をしなければならぬとは思いますが、現在は法的にも認められており、他市の状況からみても必要だと思しますので賛成します。

反対

反対
櫛川

賛成

賛成
宮崎・上野
江藤・藤田
古矢・金子
伊藤・諫山
古賀・大越
高山・佐藤
三園・岩佐

不 採 択

30人以下学級の継続と全小学校での早期実現及び教職員の定数の増加に関する陳情

提出者

うきは市母と女性教職員の会
会長 有村由香

<審査結果>

この陳情は継続審査となっていました。今議会で慎重審査の結果、不採択となりました。